

産業用 発熱ガラス®

発熱ガラスは産業用観測機器(恒温恒湿器)や屋外無人ライブカメラ等にも使用されています。

特長

観測窓を発熱させることで、結露を防止し、機器の内部をクリアに見ることができます。

対応可能温度：-70～150℃

(上記を越える場合でも、使用できる場合がございます。)

また、屋外の無人ライブカメラは降雪・荒天など天候に左右されることなくクリアな映像を撮影することが可能です。

仕様

最大寸法 2300×3200
最大寸法を超える場合、異形の場合等別途ご相談ください。

板厚 EC3～EC8

構成 EC3+A6 or 12+FL3～
温度条件により対応サイズが異なります。詳細は別途ご相談ください。

※単位：mm

※EC：発熱ガラス、A：空気層

恒温恒湿器

最新の低温恒温恒湿器の扉窓に発熱ガラスが採用されています。

試験室内を広範囲に見渡せるため、試料がよく見えます。

温度条件に合わせ、庫内外の両面発熱により防曇(ぼうどん)効果を実現します。

楠本化成株式会社 HIFLEX NEOシリーズ



FIGLA CO., LTD.

屋外無人ライブカメラ



冬季豪雪地域のライブカメラは常時風雪にさらされます。対策のない状態ではすぐに雪だるま状態となりカメラの機能を果たせません。

前面に発熱ガラスを採用・外装に超撥水塗料を施したライブカメラは環境に左右されずにクリアな映像を発信することが可能です。

注意事項

寸法等の条件によりガラス構成が変わります。ご相談ください。

ガラス面にフィルム等を貼ったり塗料を塗ったりすることは熱割れ等の原因となりますのでお避けください。

各種ガラス製品との組み合わせが可能です。ご相談ください。

板ガラスのロットによって、多少色が異なりますので連装の場合は、ご注意ください。

製品の種類・仕様及び機能等は、予告なく変更させていただく場合があります。ご了承ください。